

# 高齢者に対する交通安全教育

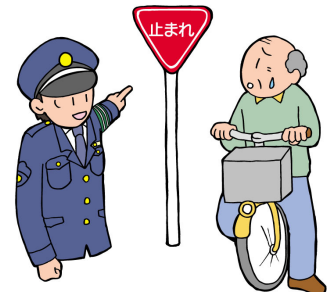
## 高齢歩行者の事故防止

- しっかり止まって**安全確認**しましょう。
- 遠回りでも**横断歩道**を渡りましょう。
- 夕暮れから夜間の外出はじ はつ こう し き はん し ゃ ざ い**自発光式反射材**を付けましょう。



## 高齢自転車利用者の事故防止

- 一時停止の標識のあるところでは、**必ず一時停止**をして**安全確認**をしましょう。
- 夜間は**ライト**を点灯しましょう。
- **お酒**を飲んだときは乗ってはいけません。



## 高齢ドライバーの事故防止

- 疲れている時や体の調子が悪い時は**運転を控え**ましょう。
- ぼんやりしたり考え事をしないように**運転に集中**しましょう。
- 近い距離でも**シートベルト**を必ず着用しましょう。



静岡県警察



# 交通安全のチェックポイント指導！



## ◎高齢歩行者の事故防止

- しっかり止まって**安全確認**しましょう。

加齢とともに身体機能の低下が生じ、自分で気づかないうちに判断を誤ったり視界も狭くなり、自分の進む方向ばかりに注意が向いてしまい、右折左折する車両に対する注意が不十分のまま横断しがちになります。しっかり止まって安全確認を行いましょう。

- 遠回りでも**横断歩道**を渡りましょう。

少し遠回りでも、横断歩道や信号機を活用しましょう。

また、横断歩道や信号交差点であっても、右折車・左折車に注意し、目でしっかり安全を確認してから横断を始めることが大切です。

また、信号機のない場所で横断するときは、左右の見通しのよい場所、照明がある場所等できるだけ明るい場所を選び、車が来ていないことを確認した上で横断しましょう。

- 夕暮れから夜間の外出は**自発光式反射材**を着用しましょう。

夕暮れ以降に外出するときは、白色、黄色等明るい色の服装を着用し、反射材や自発光式反射材を着用し、自分の存在を知らせましょう。

「ドライバーが気づいてくれるだろう」という思い込みは禁物です！

## ◎高齢自転車利用者の事故防止

- 一時停止の標識のあるところでは、**必ず一時停止をして安全確認**をしましょう。

自転車も車両です。一時停止の標識のある交差点では必ず一時停止をして、安全確認しましょう。

- 夜間は**ライトを点灯**しましょう。

夜間に無灯火で走行しているとドライバーからの発見が遅れ事故の原因になり危険です。

事故防止のために早めにライトを点灯しましょう。

- **お酒を飲んだときは乗ってはいけません。**

自転車も車両です。飲酒運転は違反になりますし、大変危険ですから乗ることはやめましょう。

## ◎高齢ドライバーの事故防止

- 疲れている時や体の調子が悪い時は、**運転を控え**ましょう。

疲労気味や風邪等で薬を服用したときは、前方の注視が遅れたり判断に誤りが生じるなどの影響が考えられますから、体調の優れないときは車の運転は控えましょう。

- ぼんやりしたり考え事をしないように**運転に集中**しましょう。

高齢者側の主な事故原因は、うっかり、ぼんやりといった安全運転義務違反が全体の7割で、原因として、身体機能の低下の変化が少なからず影響しているものと考えられます。

自分では左右の安全確認をしたつもりでも、十分な確認ができていない場合もあります。

- 速度は控えめに
- ブレーキは早めに
- 車間距離は長めに
- 早めの合図とライト点灯
- 状況の変化を予測した運転

を心掛けましょう。

- 近い距離でも**シートベルト**を必ず着用しましょう。

走り慣れた近所の道路や交通量の少ない道路を運転するときも、シートベルトを必ず着用しましょう。また、助手席や後部座席に同乗する際もシートベルトを着用しましょう。